



脱藩之日記念館の内部の様子



脱藩之日記念館（パネルコーナー）



脱藩之日記念館（左）と才谷屋（右）



脱藩之日記念館（ジオラマ）



平成10年に建立された飛翔の像。左から
澤村惣之丞、坂本龍馬、那須俊平。3人の
表情は強い決意と希望に満ちている

脱藩ルートを学ぶミュージアム

バーチャル脱藩体験

河辺には、龍馬の脱藩ルートを疑似体験できるミュージアムがある。河辺川のほとりにある「坂本龍馬脱藩之日記念館」だ。館内はまさに龍馬一色。龍馬の交友関係をパネル展示で紹介したコーナーでは、その幅広さに驚く。龍馬が脱藩の決意を姉に語るシーンを再現した影絵からは、龍馬の強い意志に感銘を受ける。また、龍馬が通過したルートを詳細に紹介した写真やジオラマを眺めていると、龍馬とともに脱藩ルートを歩いているよう

な気分になれることができる。記念館に隣接する「交流館才谷屋」は、龍馬の生家の屋号「才谷屋」にちなんでネーミングされた公共の宿。木をふんだんに使った純日本風の建物で、広い居間には懐かしい囲炉裏をしつらえている。囲炉裏端にじっくりと腰をおろして、龍馬が大好きだった酒を酌み交わしながら、龍馬談義をたかかわすのもいいだろう。

交流館と川を挟んだ向かいには、脱藩する坂本龍馬と澤村惣之丞、那須俊平のブロンズ像「飛翔の像」が建立されており、こちらも見逃せない。

がいな



河辺坂本龍馬脱藩の道保存会 副会長 梅木良照さん

昭和63年に地元紙で「龍馬が河辺を脱藩した」という説が発表され、有志とともに保存会を結成しました。当初はこれほど長く続き、年を追う毎に盛り上がることは予想もできませんでした。普段は静かな河辺に多くの人が集まり、地域に元気を頂いていることは大変な喜びです。私自身、脱藩の道を歩くのが楽しみになっています。